

シンポジウム

[SY7] 【日本臨床救急医学会共催】 電話相談と危機管理—見えない病態を判断する

座長:櫻井 淳(日本大学医学部 救急医学系 救急集中治療医学分野), 伊藤 雪絵(奈良県立医科大学附属病院 生命倫理監理室)

Sat. Oct 5, 2019 2:40 PM - 4:30 PM 第4会場 (3F 中会議室301)

[SY7-2]大学病院における救急電話相談の実践から危機管理について考える

○山崎 早苗 (東海大学医学部附属病院)

我が国における救急電話相談の実態としては、#7119をはじめとする地方自治体や消防機関によるもの、民間、また病院に勤務する看護師等によるものなど実施形態はさまざまである。看護師が救急電話相談に対応するうえで直面することとして、判断が困難な事例やクレーム、長時間電話対応などの問題があることを実感している。このような救急電話相談看護師に対する教育体制等も十分に構築されおらず、各実施機関、施設等に質の補償もゆだねられている。

今回は大学病院で行われている救急電話相談の実態から、安全かつ質の補償をどのように維持していくのか、現状を踏まえて検討していきたい。

また、日本救急看護学会救急電話相談トリアージ検討ワーキンググループで現在取り組んでいる、電話トリアージナーズに関する教育や支援への課題についても考えていくこととする。